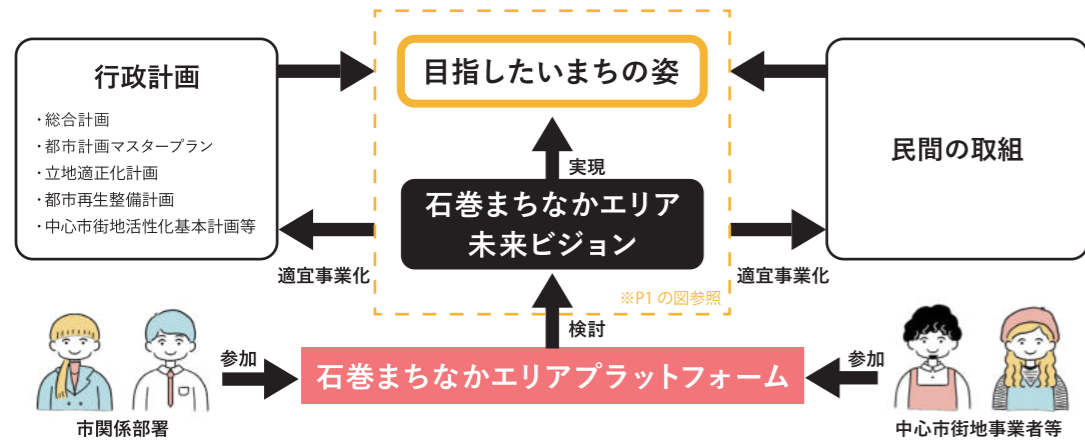


VISION

【ビジョンの実現に向けて】

ビジョンの策定にあたっては、令和3年度から「かわまちエリアマネジメント検討会」を設置し、行政と市民、民間事業者等の官民連携により作成したことが特徴的です。未来ビジョンは、まちなかの活性化に向けた“羅針盤”となるものとして、令和7年(2025年)3月26日に策定されました。



『目指すまちの姿』に向け、行政で定める各種計画との整合を図りつつ、行政と市民、民間事業者の協働のもとに進めていきます。未来ビジョンを羅針盤に、行政は各種計画に具体的な取組を位置づけながら実施していくとともに、民間事業者等も取組や協議を実施していきます。

【目指したいまちの実現に向けて】

行政と民間が連携して取り組むことがマスト!

せっかく描いた取組が「結局それって誰がやるの?」で止まってしまうようにします。まちづくりを商店街の人たちや行政だけでやっていくのは困難な時代。行政や商店街に加え、市民や時に市外の人たちが進んで、さまざまな取組を具体化できる環境をつくっていきます。



まちの人たちの心得

商店街は一つの大きなお店

商店街そのものが自分たちのお店と捉えれば、自分たちのお店の中だけでなくお店の外の環境も気になり、掃除や施設の管理もしたくなるはず。

店主はまちの魅力伝道師

まちを歩くだけ、SNSではわからないまちの魅力をまちを訪れた人たちにどんどん伝えましょう。

本業を大切に!そして面白そうなことには一緒に

お店の魅力アップに繋がらうこと、なんだか面白そうなことは業種業態とは関係なく一緒にやりましょう。

新しい人たちが
入ってきやすい雰囲気をつくる

まちを面白く楽しいとこにできるのは私たち自身!

まちの人たちがまちの魅力を発信し、人を呼び込んでいくことで、これまであまりまちを訪れることのなかった人たちが関わる機会をつくっていく。

光の戦士について

MEMBER

エリアの運営メンバーは未来ビジョン策定に向けて集まった団体、個人で構成されています。私たちは、石巻に関わる一人ひとりが“光の戦士”としてまちなかの魅力を再認識し、様々なアクションを起こすことで、シビックプライドが醸成され、未来にわたって誇りある石巻を残していくために行動していきます。



コアメンバー

街づくりまぼろし
〈代表〉株式会社街づくりまぼろし

ISHINOMAKI 2.0
〈副代表〉一般社団法人ISHINOMAKI2.0

石巻市
〈幹事〉石巻市

なまら商店街
〈監事〉立町大通り商店街振興組合

石巻商工会議所
〈監事〉石巻商工会議所

メンバー

一般財団法人まちと人と
石巻劇場芸術協会

株式会社イーチ・アザー
株式会社イーチ・アザー

一般社団法人石巻観光協会
一般社団法人石巻観光協会

その他のメンバー・協力団体

こあきんどの会 / 株式会社 巻組 / 株式会社 元気いしのまき / 株式会社 口笛書店 / 石巻専修大学 / 東北大学 / 横浜国立大学

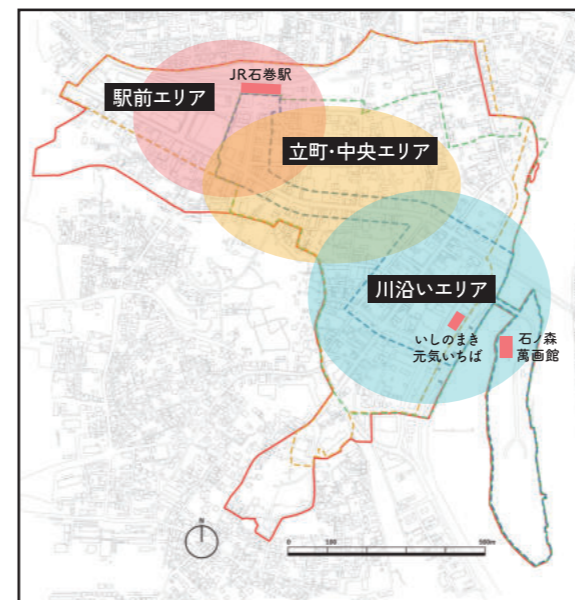


【主な活動範囲】

エリアの活動範囲(未来ビジョンの範囲)は市民のみなさんが所謂“まちなか”として思い描く、石巻駅前～中瀬までのおおよそ直径1kmの範囲です。

〈凡例〉

中心市街地活性化基本計画区域
都市機能誘導区域
滞在快適性等向上区域(まちなかウォークブル区域)
都市再生整備計画区域



石巻まちなかエリアプラットフォーム

事務局：株式会社街づくりまぼろし(街づくり事業部)

〒986-0822 宮城県石巻市中央2-5-7
TEL 0225-25-5169
MAIL contact@ishinomaki-areaplatform.jp
HP https://ishinomaki-areaplatform.jp

石巻まちなかエリアプラットフォーム

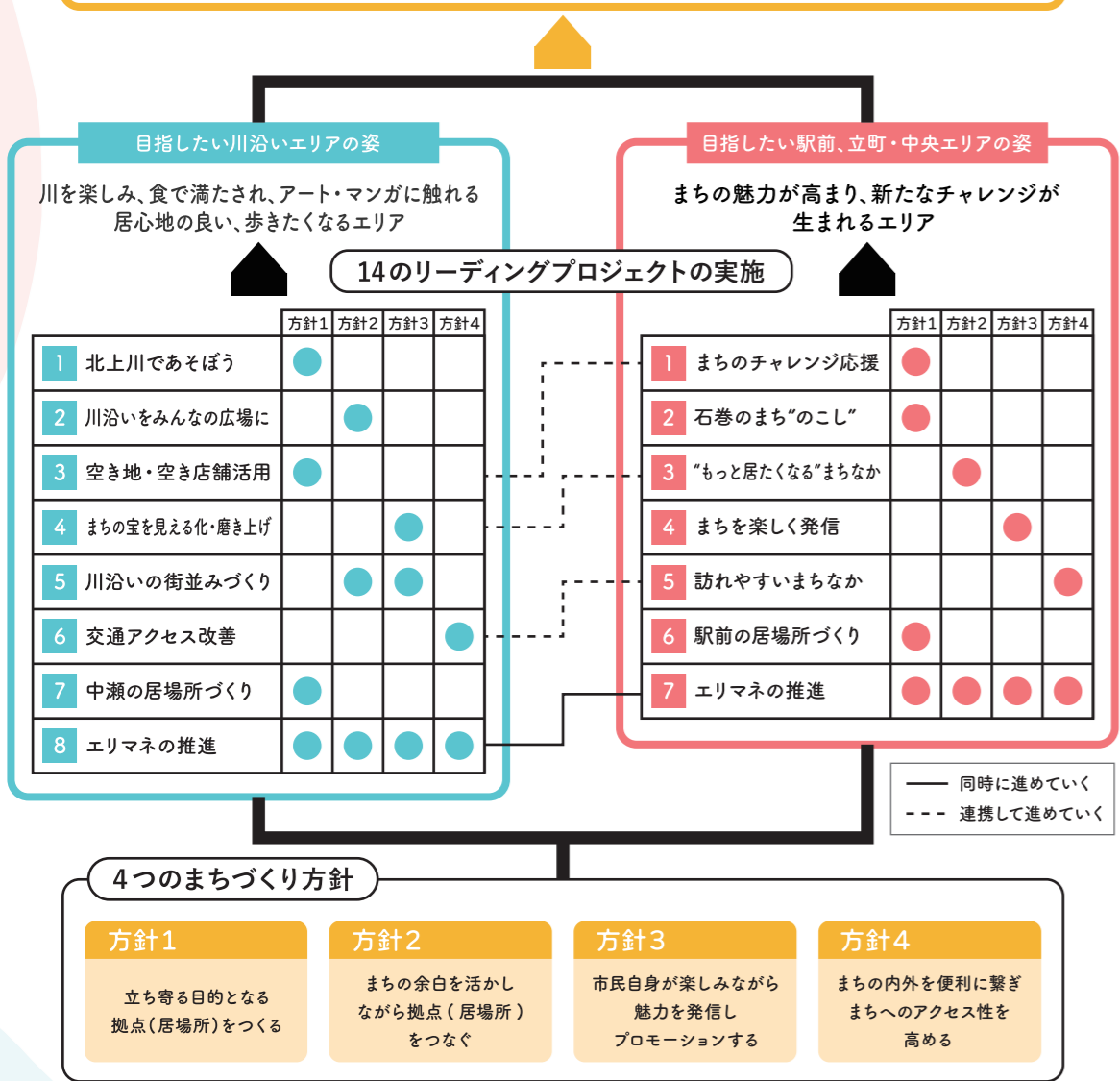


“関わりしろ”があるとは、誰にとっても居場所が生まれる余地・余白があること。市民も周辺に住んでいる人も、観光客も、仕事で来た人も、誰でもふらっと訪れて楽しめる。お気に入りのお店や人にすすめたい景色が見つかる、好きなことに取り組める場や仲間に出会える。それぞれがホットとできたり、わくわくしたり、居心地良いと感じられる場所が気づくとある、誰もが気軽にすることができる“関わりしろ”のあるまちを目指します。

目指したいまちの姿

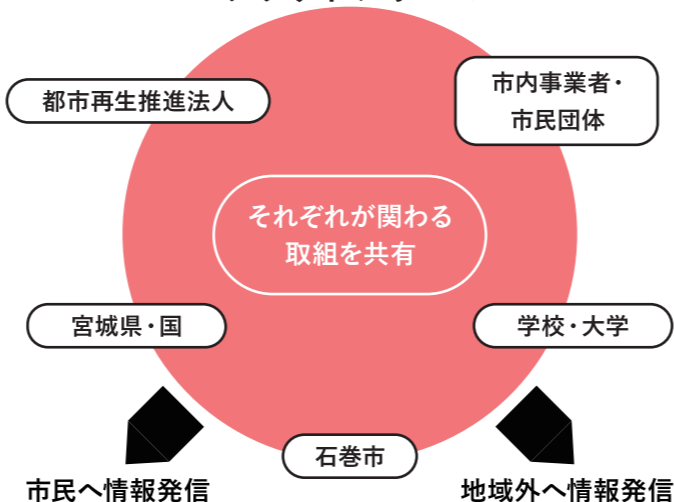
「“関わりしろ”のあるまちへ」

～誰にとっても居心地の良い場所があり、歩き楽しめるまちづくりを～



エリプラットフォームの各種事業推進においては本冊子の作成含め、国土交通省「官民連携まちなか再生事業」の補助(R6～)等を活用しています。

石巻まちなかエリプラットフォーム



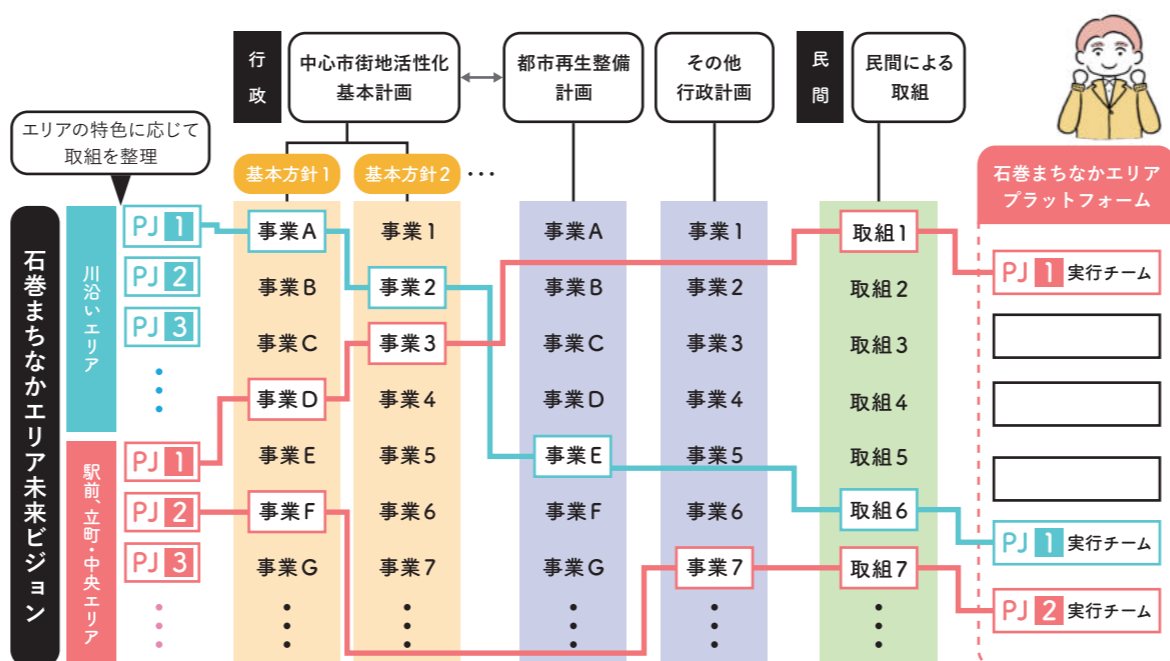
石巻まちなかエリプラットフォームはまちなかのエリマネージメントを推進し、それを推進する人材(プレイヤー)の掘り起こし、官民が連携してまちなかに新たな価値を創造していく母体として令和7年(2025年)1月9日に設立されました。

【エリマネージメントとは】

これまで所謂「まちづくり」という分野は行政が担っていましたが、日本全体が人口減少社会を迎え、今後は民間の力も活かした「まちづくり」を行っていく必要があります。特に、石巻では、東日本大震災を経て、民間が主体となった楽しいチャレンジングな取組が行われてきており、まちなかに楽しい空間、場づくりをしていく息吹が芽生えてきています。これからの「まちづくり」は行政に“お任せ”ではなく、市民も一緒になって考え、参画する=マネージメントしていく必要があります。

【エリプラの役割】

未来ビジョンに掲げるリーディングプロジェクトは行政の各種計画や民間の取組に横串を指し、つなぎ、エリプラが実行に向けて取り組んでいきます。



【エリアマネジメントの推進に向けて】



エリプラでは、リーディングプロジェクト、各種事業を通じて、市民にまちなか、まちづくりに関わっていただける機会を増やそうとしています。また、様々な取組を通じて、広い市民参画を目指しています。

